

## クルーズ船寄港実績調査 【5月の速報値】

- ・2019年5月の中部地方整備局管内(愛知県、三重県及び静岡県)の港湾へのクルーズ船寄港回数は、12回でした(対前年同月9回)。
- ・内訳は、名古屋港2回(同6回)、清水港7回(同2回)、鳥羽港2回(同0回)、伊東港1回(同0回)でした。
- ・中部管内への初寄港は4回あり今年最多でした。内訳は、清水港にバイキング・オーシャンクルーズ社の「バイキング・オリオン」(5月2日)、ハパグ・ロイドクルーズ社の「オイローパ2」(5月6日)、鳥羽港に「オイローパ2」(5月10日)、伊東港に「ぱしふいっくびいなす」(5月28日)がそれぞれ初寄港しました。

### 1. 中部におけるクルーズ船寄港回数実績調べ<令和元年5月末>

港名	クルーズ船月別寄港回数													合計
	年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
名古屋港	H31	0	2	11 (7)	5 (3)	2 (2)								20 (12)
	H30	3	1	5 (5)	2 (1)	6 (6)	2 (2)	2 (2)	3 (3)	3 (3)	4 (2)	4	5 (5)	40 (29)
清水港	H31	0	1	2 (1)	9	7 (3)								19 (4)
	H30	2 (2)	0	3 (2)	10	2 (1)	0	1 (1)	2	1	7	3 (1)	2 (1)	33 (8)
四日市港	H31	2 (2)	0	0	2	0								4 (2)
	H30	2 (1)	0	1 (1)	0	1 (1)	1	0	2 (2)	1	1	3 (2)	1 (1)	13 (8)
鳥羽港	H31	1 (1)	0	1 (1)	1	2 (1)								5 (3)
	H30	1 (1)	0	0	1 (1)	0	0	0	4 (4)	0	1	0	0	7 (6)
津松阪港	H31	0	0	0	0	0								0
	H30	0	0	0	0	0	0	0	0	1 (1)	0	0	1 (1)	2 (2)
尾鷲港	H31	0	0	1 (1)	0	0								1 (1)
	H30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三河港	H31	0	0	1	0	0								1
	H30	0	0	1 (1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1 (1)
熱海港	H31	0	0	0	0	0								0
	H30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1 (1)	1 (1)
伊東港	H31	0	0	0	0	1 (1)								1 (1)
	H30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	H31	3 (3)	3	16 (10)	17 (3)	12 (7)								51 (23)
	H30	8 (4)	1	10 (9)	13 (2)	9 (8)	3 (2)	3 (3)	11 (9)	6 (4)	13 (2)	10 (3)	10 (9)	97 (55)

※平成30年・平成31年にクルーズ船が1回以上寄港した港を対象、沖泊も寄港回数に含む。

※( )書きは邦船社が運航する船舶の寄港回数で内数。

### 2. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、名古屋港記者クラブ、豊橋市政記者会、静岡県政記者クラブ、静岡市政記者室、三重県政記者クラブ、四日市市政記者クラブ、四日市港湾記者クラブ、津市政記者クラブ、港湾新聞社、港湾空港タイムス、日本海事新聞社、海事プレス、マリタイムデーリーニュース

### 3. 問い合わせ先

中部地方整備局港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室

室長 黒川 利樹也 (くろかわ りきや)

課長補佐 久野 賢二 (くの けんじ)

電話 052-209-6330 (直通)、FAX 052-203-9739

## 中部管内クルーズトピックス(5月)

### 清水港にクルーズ船「バイキング・オリオン」初寄港！(2019年5月2日)

バイキング・オーシャンクルーズ社の「バイキング・オリオン」が5月2日(木)、清水港日の出岸壁に初寄港しました。静岡県港湾局によると、清水港客船誘致委員会は長年客船の誘致活動に取り組んでおり、港の近くで観光しやすくなっていることと、世界文化遺産に登録されている富士山も近く、海外の観光客にとって魅力となっており、初寄港につながった。



バイキング・オリオン(清水港 日の出岸壁)



バイキング・オリオン(清水港 寄港の様子)

船名	バイキング・オリオン
総トン数	47,842トン
全長	228.3m
総乗客定員	930人

### 鳥羽港にクルーズ船「オイローパ2」初寄港！(2019年5月10日)

ハパグ・ロイドクルーズ社の豪華客船「オイローパ2」が5月10日(金)、鳥羽港に沖泊にて初寄港しました。今回は、東京からシンガポール間を巡る全19日間のクルーズとなっている。鳥羽市観光課によると、2017年4月にハパグ・ロイドクルーズ社の「オイローパ」の寄港実績があり、鳥羽港は伊勢神宮、熊野古道など観光地が近く、オプションツアーが組みやすいことが魅力となっていることが、初寄港につながった。市民らによる、再会を約束する「リメンバー赤いハンカチ」に見送られ出港し沖縄に向かった。



オイローパ2(沖泊の様子)



オイローパ2(お見送りの様子)

船名	オイローパ2
総トン数	42,830トン
全長	225.62m
総乗客定員	550人